

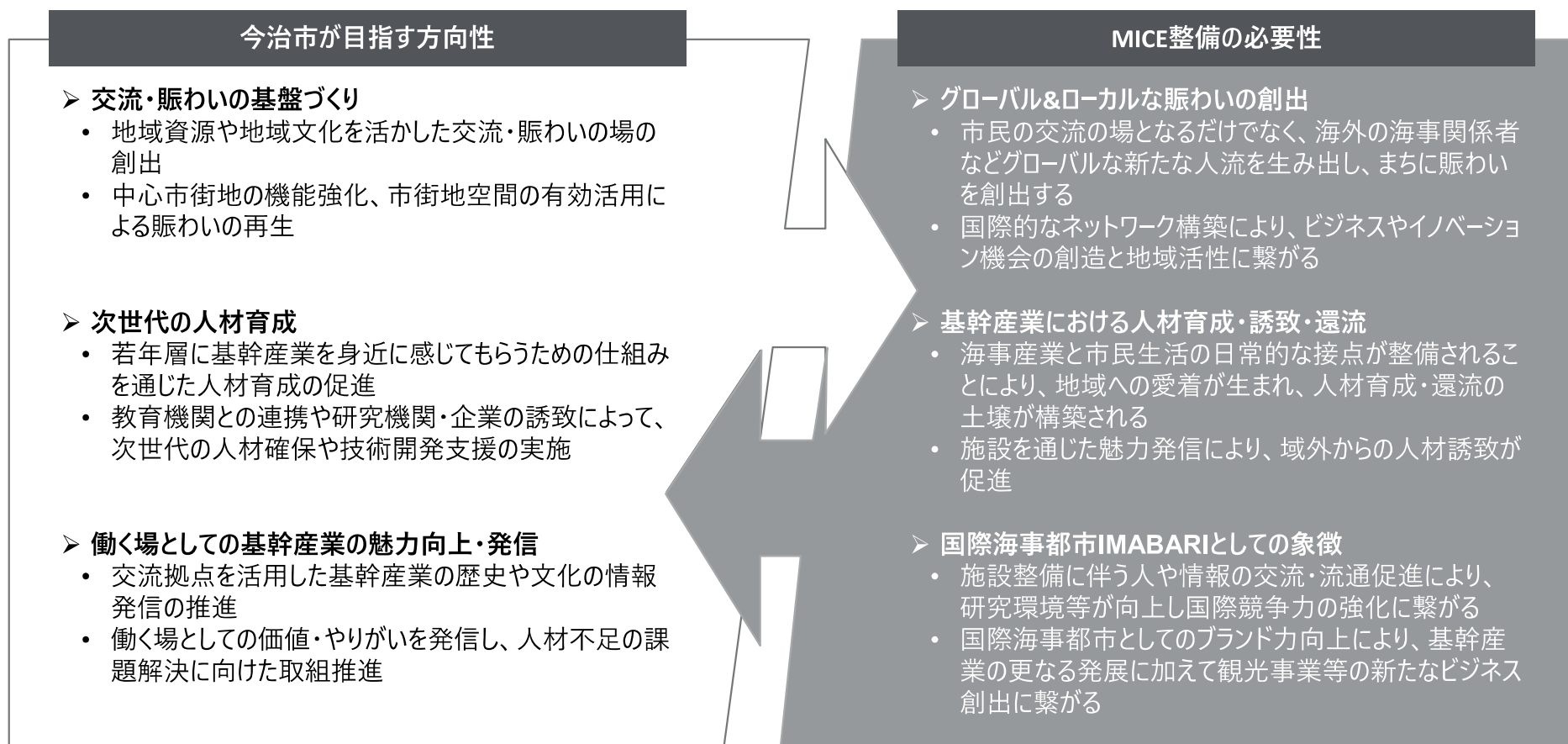
第 1 回 今治市海事都市推進会議資料

1 MICE施設の必要性について

目指す方向性に対して国際海事都市IMABARIの魅力向上に資するMICE施設の整備が望まれており、海事関連企業からも多額の寄附が寄せられている状況

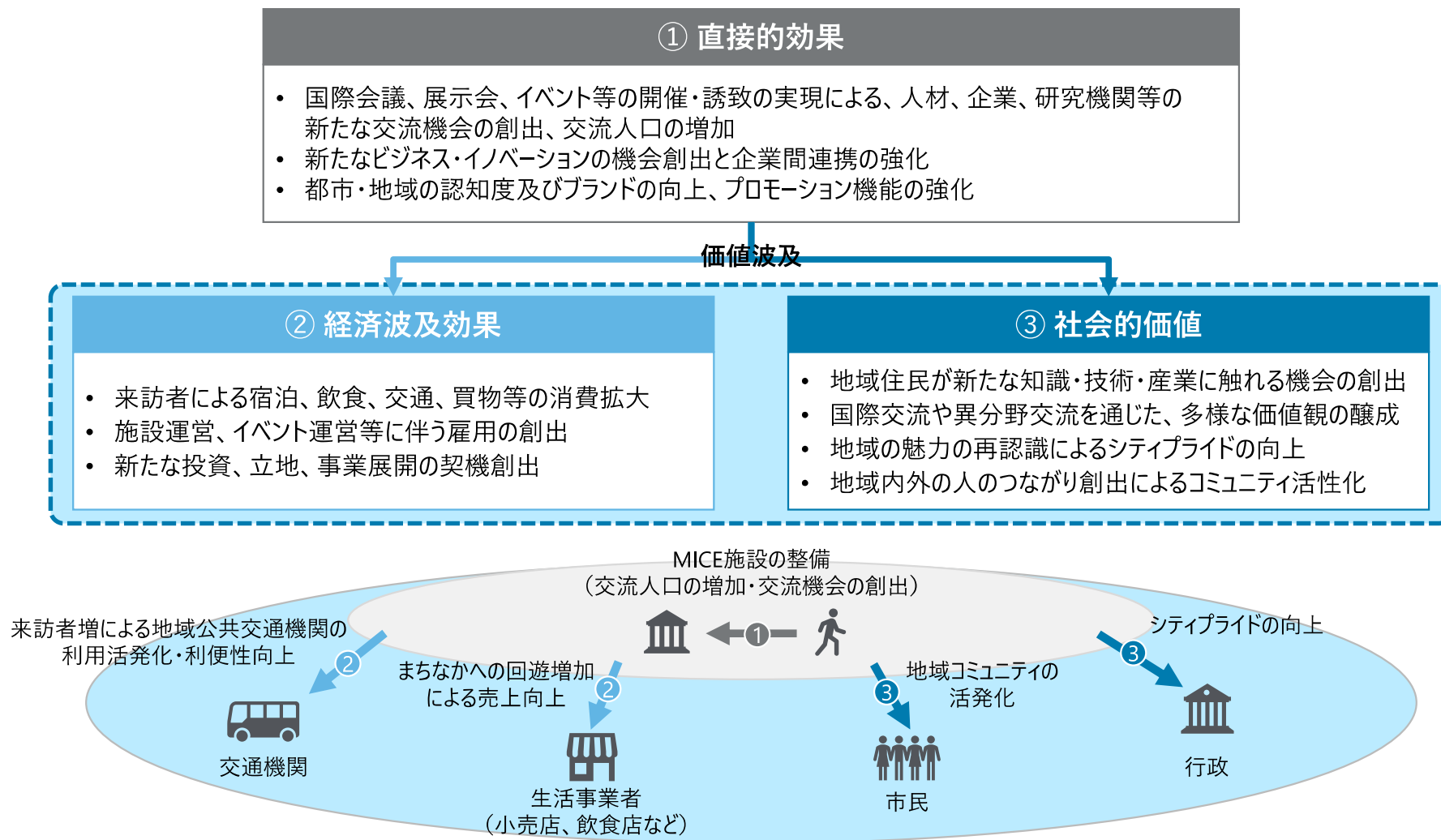
MICE施設の必要性

- バリシップなど様々な分野での展示会・イベントを誘致し今治の魅力向上に資するMICE施設の整備が、海事企業をはじめ各所から望まれている
- 海事関連企業を中心に現時点でも約33億円の寄附が集まっている状況（2025年度末時点）



一般的にも、MICE施設には、交流人口増加等の直接的効果に加え、消費拡大による経済波及効果やシティプライド向上等の社会的価値創出が期待される

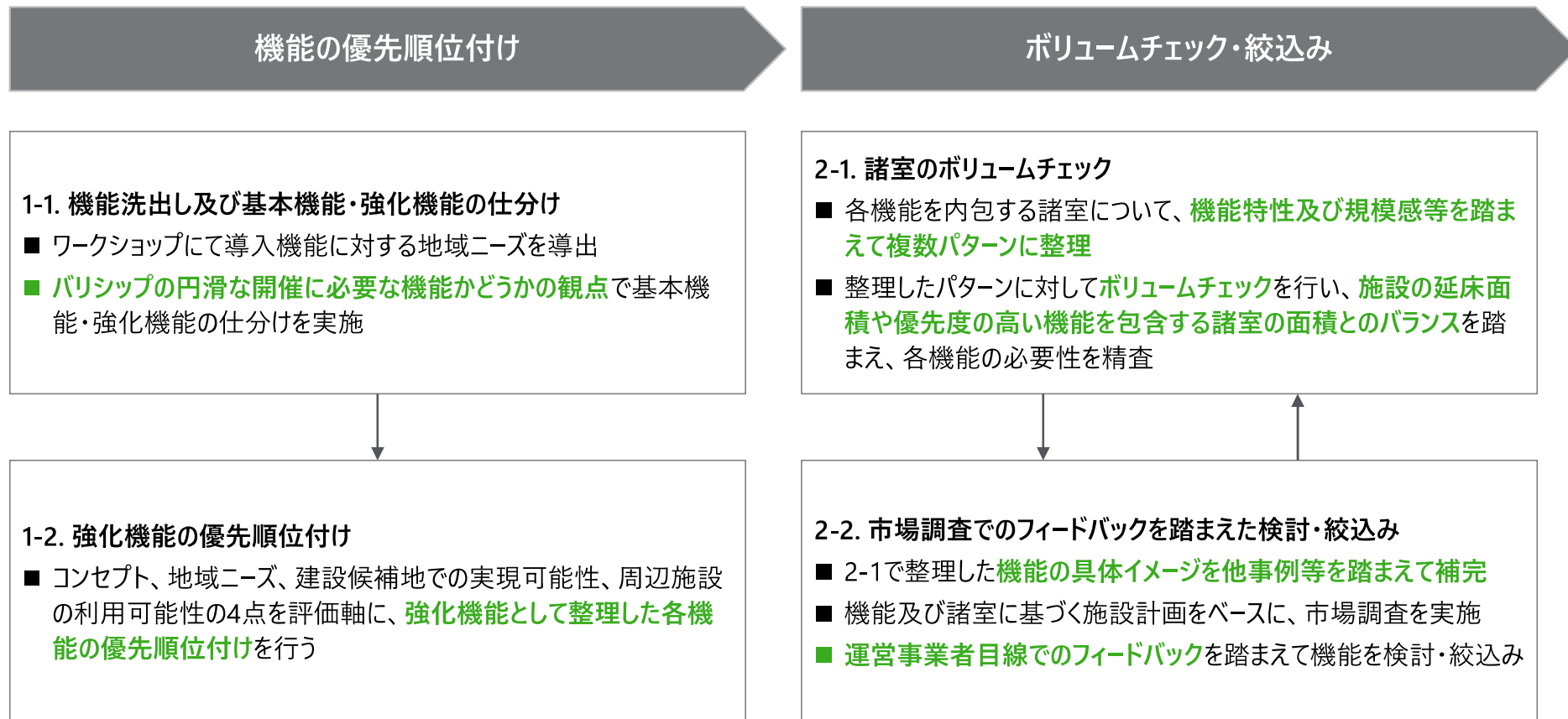
MICE施設の一般的な意義



2 機能絞り込みのアプローチについて

整理した必要性を踏まえ、複数の評価軸による機能の優先順位付けを行い、機能を内包する諸室のボリュームチェックや市場調査等を踏まえて最終的な絞込みを実施する

導入機能絞込みアプローチ



基礎調査における業界団体等における意見・要望を踏まえ、MICE施設において必要な展示面積は、7,400㎡以上としています

MICE施設に必要な展示面積について

機能	希望される用途		基礎調査における意見要望
バリシップの円滑な開催に必要な機能 ブース出展・イベント ・バリシップブース出展 ・学会 ・企業研修 ・各種イベント（企業イベント、フェス、説明会、式典）		・7,400㎡～ ・※主催者からの情報をベースとして、現在の展示ブース面積3,700㎡に同規模の通路面積を加算して算出	・「キャパの問題で出展希望があってもお断りしている企業があるほど開催スペースが全く足りていない状況」 ・「ブースにはスタッフだけで4～5名必要だが、そうすると来場者が入れるスペースが残らない。余白が少なすぎる状況」「現在はキャパの問題で1ブースに2社入っているケースがあるが1社1ブースで400ブース入れられることが理想」「企業研修の場所として使えたら嬉しい」 ・「展示する商材が大きい業種のイベントの為、実際には希望する実機を持ち込めていない企業は少なくない」「実機を置かないとブースに人は中々集まらない」 ・「建物全てが高い天井である必要はなく、高いところ・低いところがあっても良い」 ・「耐荷重性能を具備することで施設としての使い勝手が下がったり、整備費が高くなるなら優先すべきとは思わない」 ・「定期的にピッチコンテストをやったりすることで全国からアイディアのある人達が集まってこれるようにしたい」 ・「今治で2,000人規模のロータリークラブ地区大会を開催する機会があったが市内に適切なキャパの会場が無かったため松山で開催した。今治でこの需要を受け止めていかなければ」 ・「バリシップは世界から各社のトップが参加されるイベントであるためオープンなラウンジみたいなものがあると良い」 ・「業界特性としてアルコールを伴う接待をしながら営業する文化があるため、展示会場内の飲食を希望される声が多い」
実機展示 ・天井高・耐荷重性能が必要な実機展示			
セミナー ・セミナー ・学会 ・市民向け講演会 ・ピッチコンテスト			
バリシップ開催方法の工夫にて対応可能な機能 商談 ・商談 ・軽食・アルコール提供 ・クローク			

MICE施設整備の主要目的の一つであるバリシップでは、約2,300㎡分のブースが屋外出展されており、現在の展示需要を屋内で取り込むには通路含め7,400㎡の有効面積が必要

2025年バリシップの開催状況



#	屋内/屋外	展示ブース面積
Aゾーン	屋内	約900㎡
Cゾーン		約500㎡
Aゾーン	屋外	約100㎡
Bゾーン		約700㎡
Fゾーン		約700㎡
BCゾーン		約400㎡
OAゾーン		約400㎡
展示ブース面積合計		約3,700㎡

必要通路	約3,700㎡ (展示ブース同等)
必要ホール面積	約7,400㎡

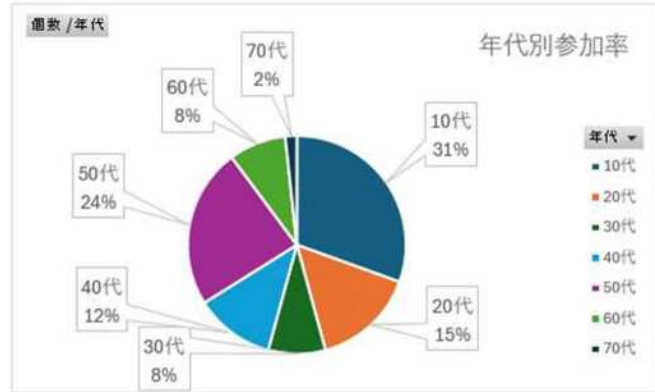
バリシップの円滑な開催に向けては、ブース出展及び実機展示スペースとして、最小でも7,400㎡の面積確保が必要と見込まれ、さらなるスペース確保への期待も大きい

バリシップの円滑な開催・市民交流や市街地活性化に必要な機能・規模

機能	希望される用途	必要面積
バリシップの円滑な開催に必要な機能	ブース出展・イベント	7,400㎡～
	実機展示	
	セミナー	
バリシップ開催の工夫で対応可能な機能	商談	要検討 ※今後ブース出展・イベント、実機展示機能との空間共有の検討が必要になるため
市民交流・市街地活性化に向けた機能	教育・学習	
	文化・芸術	
	興行	
	地域魅力発信	
	産業交流	
	飲食	
	スポーツ・ヘルスケア	

MICEに対する理解・関心の醸成、機能・使い方に対する市民の声を聴取するため、市民ワークショップを実施

利用者層の意向把握に係るワークショップ

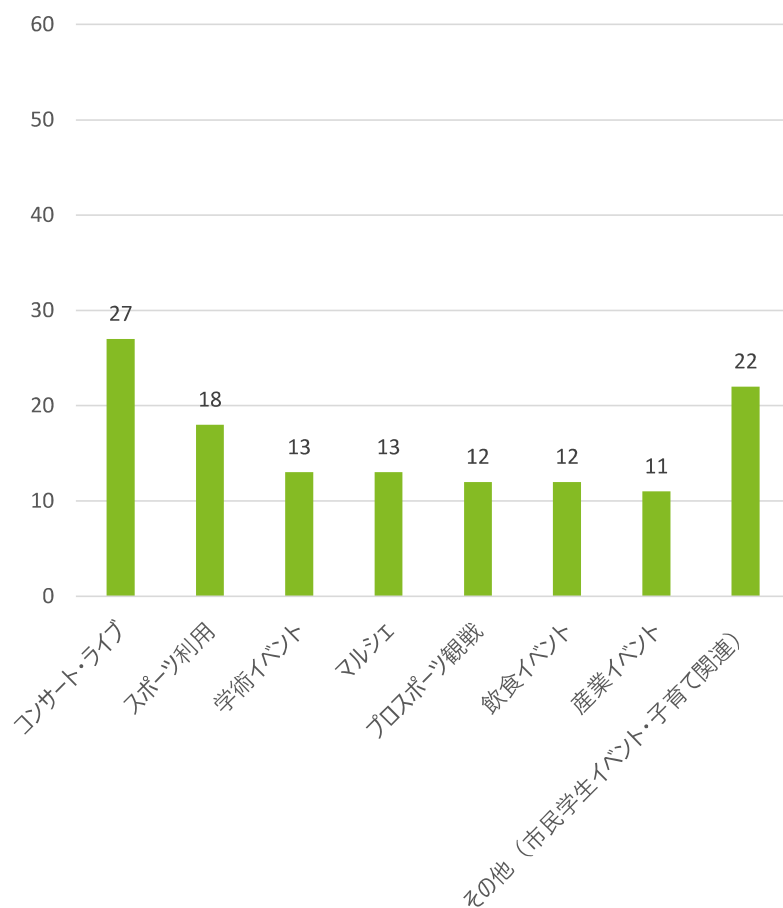
	実施概要		ワークショップ概要															
目的	- MICE施設に対する理解・関心の醸成 - 施設の機能・使い方に関する様々なニーズを収集し、利用イメージを具体化すること	明らかにすべきこと	- バリシップ以外でのホールの利用イメージ (例) スポーツ/大会利用 (例) マルシェ開催/日常利用 (例) セミナー/展示会実施 - ホール以外の施設機能への期待 (例) 学習・習い事 (例) 食堂、カフェ (例) イベント開催															
時期	2026年7月4日（土）10:00-12:00																	
参加者数	参加者数 59名 （海事産業（6名）、高校生（16名）、大学生（7名）、一般市民（30名））  年代別参加率 <table><thead><tr><th>年代</th><th>参加率</th></tr></thead><tbody><tr><td>10代</td><td>31%</td></tr><tr><td>20代</td><td>15%</td></tr><tr><td>30代</td><td>8%</td></tr><tr><td>40代</td><td>12%</td></tr><tr><td>50代</td><td>24%</td></tr><tr><td>60代</td><td>8%</td></tr><tr><td>70代</td><td>2%</td></tr></tbody></table>		年代	参加率	10代	31%	20代	15%	30代	8%	40代	12%	50代	24%	60代	8%	70代	2%
年代	参加率																	
10代	31%																	
20代	15%																	
30代	8%																	
40代	12%																	
50代	24%																	
60代	8%																	
70代	2%																	
場所	みなと交流センター「はーばりー」	テーマ	「海とまちの新しい拠点を考えるワークショップ」															
内容	①MICEに関する説明（MICEの効果・他地域事例） ②フィールドワーク（建設候補地周辺エリア歩き） ③ワークショップ（個人ワーク+グループワーク）	進め方	- 個人ワーク ワークシート（アンケート）にて個人のアイデアを記載 - グループワーク 個人の意見を持ち寄りグループ内でシェア															
		備考	晴天時は、室内で関連計画の内容を個別に説明したうえで、フィールドワークを通じて、計画と実際の場所との関係性や空間的なイメージを補完する予定であったが、あいにく当日は、雨天により現地での確認ができなかったため、「場所との関係性」「周辺環境とのつながり」を、グランドデザイン資料等を用いて室内で説明し、ワークショップに必要な理解を確保した。															

MICE施設に求められる機能ラインナップや意義については、基礎調査で把握した産学官における各企業・団体の意見と市民の意見との間に大きな差異がないことが確認された

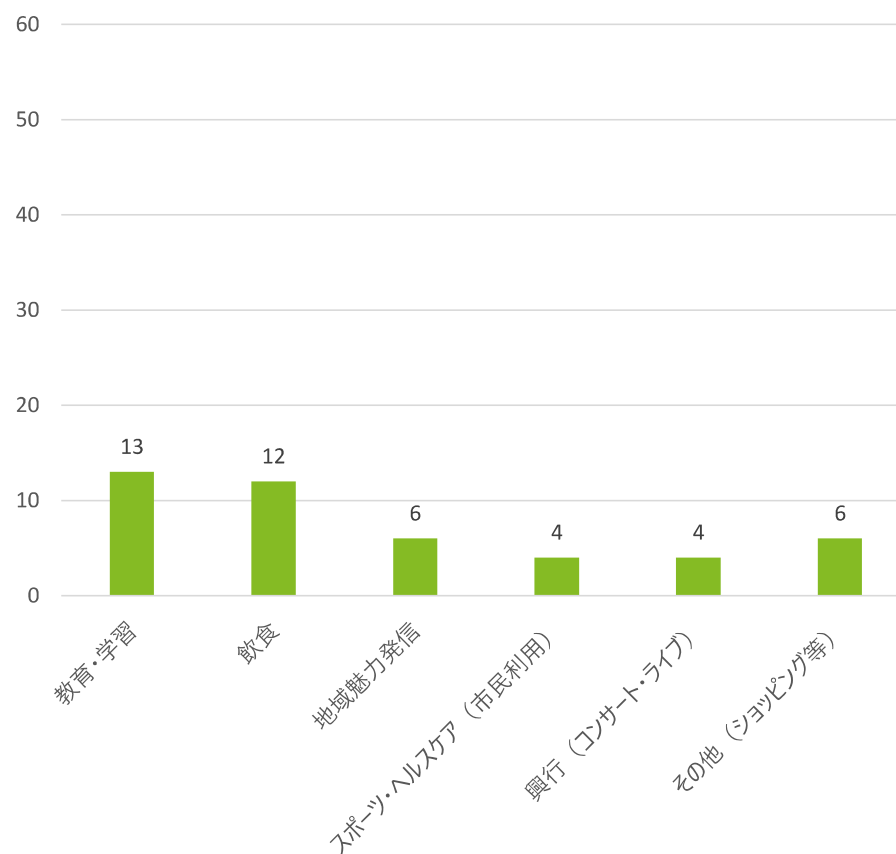
【ワークショップ】機能や意義に対する意向

n=59

バリシップ以外でのホールの利用イメージは？



ホール以外の施設機能への期待は？



3 市場調査について

A案は、基本機能及び強化機能のうち、MICEに必要な機能を優先的に確保するとともに、海事都市今治を象徴する施設としての魅力向上を重視した案、B案は、基本機能及び強化機能のうち、MICEに必要な機能を確保しつつ、コスト等とのバランスを重視した案となります

項目	選択肢	
	A案	B案
展示機能	室内約7,400㎡	室内約4,500㎡
概算延床面積	約12,000㎡	約8,000㎡

施設構成（共通）

1F

- ・ 多目的ホール
 - 講演会
 - 発表会
 - 音楽利用
- ・ 会議室・控室・ホワイエ
- ・ 軽食・カフェ

2F

- ・ 吹抜けスペース
- ・ 会議室
- ・ 交流スペース・学習室エリア
- ・ テナントエリア

施設構成（A案）

3F

- ・ 多目的展示ホール
 - 海事ミュージアム
 - 展示・イベント等
 - 地域スポーツ利用
- ・ 会議エリア・応接室

施設構成（B案）

3F

- ・ 多目的展示ホール
 - 展示・イベント等
 - 地域スポーツ利用
- ・ 会議エリア・応接室

施設計画A案（バリシップを1箇所で開催とする案）



旧日吉小学校敷地

3階：多目的展示ホール・商談室等
（展示等、地域スポーツ利用）
兼 海事ミュージアム

2階：会議室、交流スペース等
（吹き抜けあり）

1階：多目的ホール、控室、飲食
（音楽催事、会議・研修・講演）

駐車場

道路

市有地

施設計画B案

（仮設や既存施設で対応し、バリシップを分散開催とする案）



旧日吉小学校敷地

3階：多目的展示ホール・商談室等
（展示等、地域スポーツ利用）

2階：会議室、交流スペース等
（吹き抜けあり）

1階：多目的ホール、控室、飲食
（音楽催事、会議・研修・講演）

駐車場

道路

市有地

本調査では、施設計画（モデルプラン）に関する意見や、参入意向や事業スキーム、本事業のリスク分担の考え方などの項目を想定しています

調査項目一覧

項目	内容
コンセプトについて	本事業のコンセプトや目的に関して共感できる点、懸念される点等の方向性に関する意見・要望
施設計画（モデルプラン）について	施設計画（モデルプラン）に関するゾーニングや機能の過不足や規模の妥当性に関する意見・要望
持続可能性（バランス）について	「バリシップ等の大規模イベント需要と平常時の利用のバランス」に関する工夫に関する意見・要望
設計・施工スケジュール	施設計画（モデルプラン）における必要な設計・施工期間、工期短縮の工夫に関する設問
概算整備費について	想定される工事費単価や施工者の人手不足の状況、物価上昇のトレンドに関する設問
維持管理費について	施設計画（モデルプラン）で想定される概算年間コスト（清掃、警備、設備点検等）に関する設問
事業スキームについて	希望する事業手法、業務範囲、PPP/PFI事業に必要な諸条件等に関する設問
実現性・リスクについて	本事業を実現させるためにもっとも重要な要素や事業を推進する上でのリスク分担に関する意見・要望
参入意向について	参入意向及び参入意向が向上する条件や、参入にあたって重視する条件に関する設問
市への意見・要望	その他市への意見・要望